

共通教科「社会と情報」シラバス

令和2年度 県立普天間高等学校 情報科

1. 科目名

普通教科「社会と情報」(1年生 9クラス)

2. 単位数

2単位

3. 教科「情報」の目標・ねらい

情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

4. 教科書・副読本

「社会と情報」(東京書籍), 「社会と情報 学習ノート」(東京書籍)

3. 科目の学習目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集, 処理, 表現, するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い, 情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

4. 授業形態

コンピュータ教室を使用し, 週2時間の授業で実施。実習と座学の形態がある。授業時にはコンピュータ教室使用のマナーを守る。

5. 授業の概要

○情報の収集

授業の最初に学校におけるコンピュータ利用上のルールを徹底した上で, 今後の活動や総合的な学習の時間など, 他教科での利用も踏まえて情報の検索, 整理について早い時期に定着する。また, 安易にネットからの情報に頼るのではなく, 本などの印刷メディアとの比較や自らの足を使った調査など, さまざまな方法を併用する姿勢もつくりたい。また, ネット社会において気をつけなければいけないこと, 自ら守るべきことを指導し, 犯罪等に巻き込まれることのないようにする。

○情報の加工

写真, イラスト, 音声, 動画などの素材の取り扱いや, その基礎となるデジタル化技術について学ぶ。また, 数値データについても, 表計算ソフトウェアを用いて加工(グラフ化など)する方法を確認する。

○情報の発信

Web ページ, プレゼンテーション制作の活動を通じて, 受け手の立場に立った情報発信をする姿勢と技術を身につける。

○問題解決

ブレインストーミング, KJ 法について学び, 場当たりの問題解決ではなく, 最初に問題点の発見及び整理を行い, 効率よく問題を処理する解決法を習得する。

○プロジェクト

最後にプロジェクトの取り組み方について学ぶ。実際のプロジェクトを通じて、これまで学んできた内容を生かして与えられたテーマについて取り組み、発表まで行うことで情報の授業1年間のまとめとする。

6. 評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報や情報社会に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしているか。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を生かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現・行動している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身につけ、目的に応じて情報の収集・選択・処理を適切に行い、情報通信ネットワークの特性を生かすことができているか。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけ、社会の情報化における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

7. 評価の方法

- (1) 関心・意欲・態度・・・授業の半分は実習のため、まずは授業を受けることが評価の対象となる。
その上で、関心・意欲をもって授業に参加し、質問や発言を行ったか。
- (2) 思考・判断・表現・・・筆記試験、実習課題、学習プリントなどの内容を参考に評価する。
- (3) 技能・・・・・・・・・・実技試験をメインとし、実習課題と併せて評価をする。
- (4) 知識・理解・・・・・・・・筆記試験（期末考査）をメインに評価をする。

8. 学習計画

学 習 計 画 お よ び 学 習 内 容		
学 期	月	学習項目・単元
1 学 期	4月	オリエンテーション
		情報通信技術の発達
	5月	デジタルデータの特徴と分析
	6月	インターネット
		メディアとは
7月	情報社会と問題点	
夏 休 み		
2 学 期	9月	情報の表現と伝達
	10月	アナログとデジタル
		コンピュータのしくみ
		情報のデジタル表現
	11月	情報セキュリティの確保
情報社会における法と個人の責任		
12月	コミュニケーション手段の発達	
冬 休 み		
3 学 期	1月	インターネットの仕組み
	2月	インターネットの活用
		情報システムと人間
3月	問題解決	